

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年10月28日（月）

2 確認箇所

2号機原子炉建屋西側ヤード、2号機タービン建屋東側

3 確認項目

1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

1 / 2号機共用排気筒解体工事は、10月27日から4ブロック目の解体作業が始まったことから、作業の進捗状況を確認した。

- ・4ブロック目の解体作業は、ステップ1として筒身解体装置により、背籠、梯子、電線管等の付属品の切断及び筒身部50%までの切断を行い、その後、ステップ2として鉄塔解体装置（斜材切断装置）により、鉄塔斜材（8箇所）を切断後、ステップ3として鉄塔解体装置（支柱切断装置）により、支柱の切断（4本）と筒身部の残り50%を切断する予定になっている。
- ・現地確認時には、筒身解体装置が地上に下ろされており、作業員が点検等を行っていた。（写真1）

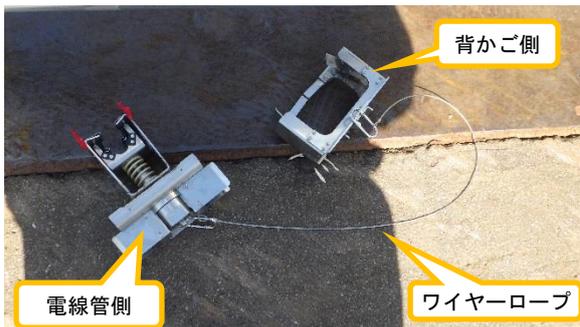
東京電力によると、本日（10月28日）5時12分頃には、ステップ1の筒身部の50%切断まで完了したが、作業の中で筒身解体装置の6軸アーム先端にあるカメラに動作不良が発生した他、電線管を切断する際に把持するクランプ（落下防止金具）（写真2）が外れて落下したため、付属品の切断は行っておらず、筒身解体装置を下ろして原因と再発防止対策を検討しているとのことであった。

- ・10月25日に確認した際に、2号機タービン建屋東側においてトラック荷台上に固縛されていた3ブロック目の解体部材は、地上に下ろされ、養生された状態で仮置きされていた。（写真3）



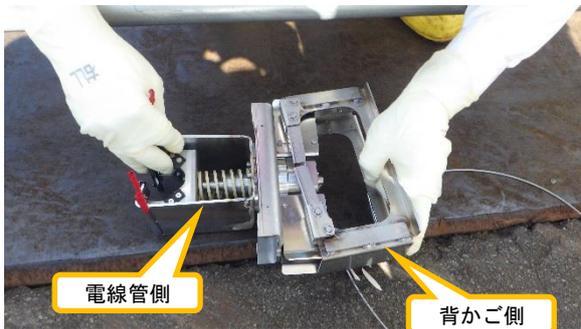
（写真1）

2号機原子炉建屋西側ヤードの状況



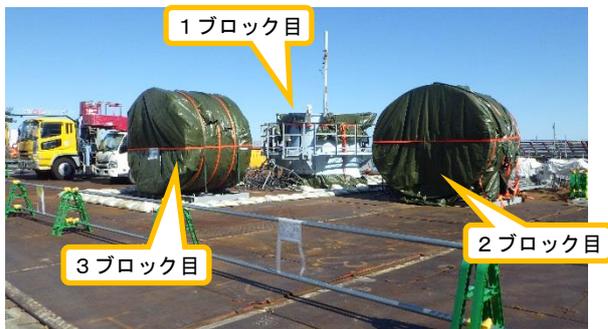
(写真 2-1)

落下したものと同一クランプ (落下防止金具) ① (二つのクランプが離れた状態)



(写真 2-2)

落下したものと同一クランプ (落下防止金具) ② (二つのクランプが接続した状態)



(写真 3)

解体部材の仮置き状況
(2号機タービン建屋東側)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。